

vol.25
発行日:2014年9月号
順造選ショップ
<http://www.junzosen.com/>
<http://www.rakuten.ne.jp/gold/junzosen/>
〒550-0003 大阪市西区京町堀1丁目18-
TEL.0120-103-712
E-mail:order@manukai.co.jp

九月の
お便り

八月の暑い盛りに想い出すのは
十五日、愛媛県吉田町浜通りの路
上に町の人達が集まり、炎天下
姿勢を正し、君が代の後、天皇陛下
の終戦詔書聞いたことです。
小学校五年生でしたが、

りんご
産地白皮

順造選ジューズの代表
おなじみのりんごジュースが
できるまで！

『リンゴジュースの
リンゴの木』

農園はこれからの収穫をひかっ
て小休止。お盆が明けますと早速早
生種のりんご、つがるや、シナノ
レッドの収穫が始まります。
収穫は十一月がふりゆん
も大きくなっています。

りんごの実は5.5cmぐらい
なりましたよ



今は台風などの大きな自然災害が
少ないことを祈るばかりです。
信州は八月ともなると、朝晩が
涼しくなり、空はうろこ雲が現
れ秋の気配です。
信州の夏は短いのです。

京都の四条の川近くの古門前通りにあるギャラリー。
私が長年親しくしています伊賀上野で焼く陶芸家・谷本景さんが新生谷本の個展案内をいただいたので訪ねました。

京都市には、京都市らしいギャラリ空間で目を見張らしたよ。ギャラリの中の見張り廊下といふか小さな路を抜けると、そこに谷本景さんの新生作品が展示されていて、そのオブジェに感動。昔々グマが地底から噴出してきた光景を想い浮かべるような作品で力あり。ギャラリオーナーの藤田

を、今、議論されてきたことが、権元々々の問題にも、ここに基点が
あると私は考えています。
六九年前の八月十五日終戦では
なく、敗戦の現実を真正面に
見据えていかに限り、日本国の
再生はないのではなく、どうの
戦争に負けた後の、誇りを失ひ、
餓鬼のすきにうなるみじめな大
人達、
達を、日々を、景色を今も
忘れることはありません。
戦争に負けたことにより、人間は
瞬時に儻く愛する姿を
子供ながら私は見ました。
こんなことを、こゝに所々に書いて
も、良いものかなと思いつ

見せていた。やはり京都の建具職人さんの技とデザインコード。タターの人達の小さな空間を生かす感性に頭が下りました。翻つて大阪を見下しますと技と感性に身が震えるものが現われて来ず、愕然とします。

京都を見ると世界の中で我が国は誰のき方方向性があるのにとつくづく思わされた京都でた。

二〇〇五・〇八・八
京都府東山区元町八十一
番二 七四一 〇三三
http://www.gakky.co.jp
大阪の建具屋の代表者

入江浩司氏より

見せていた。やはり京都の建具職人さんの技とデザインコード。タターの人達の小さな空間を生かす感性に頭が下りました。翻つて大阪を見下しますと技と感性に身が震えるものが現われて来ず、愕然とします。

京都を見ると世界の中で我が国は誰のき方方向性があるのにとつくづく思わされた京都でた。

二〇〇五・〇八・八
京都府東山区元町八十一
番二 七四一 〇三三
http://www.gakky.co.jp
大阪の建具屋の代表者

入江浩司氏より

まますとこののが現実です。
 京都のシンコーデ
 な空間を
 ました。
 〇〇八九
 品区元町三
 七四六・四
 www.gallery-sc
 から古門前
 です。

そのつがこの写真です。

フジのベルギー産ビールで
金賞を受賞。ぜひお試しください。

ムツサブリュット泡白
タカムラ(水日定休)
電話の六・六四四三・三五一九

コンクール
2011
La Medalha de Oro
CASA VITIVA de Valdemora ERO
MENDOZA
2011

ベルギー産ビール
フジのベルギー産ビールで
金賞を受賞。ぜひお試しください。

ムツサブリュット泡白
タカムラ(水日定休)
電話の六・六四四三・三五一九

建具イネ生か技とわれが進解る思わため
八二一四五六
電話の
タカム

この写真です。
ブリュッセル国際シンクルで
金賞も受賞しましたよ！
La Medalla de Oro
Cava SP9A de Valldemora Enot
Bodega
WVA
Valldemora
リキュット(泡・白)
八円(税込)
(水曜日定休)
八六四四三・三五一九

スペインで出会った風景

ますと
本人の
ヤツプを
るです。
仕方ないこと



**スパークリングワイン
最大生産地「カタルーニャ」**
スペインのワイナリー巡りをし
て近頃と違い立ち、バルセロナの
周辺とカタルーニャ地方に出掛け
た風景です。
バルセロナから1時間半位下ライ
ブリングスというバティというペー
キングワインの最大生産地である
カタルーニャ地方です。

とそこで植えられたオリブが延々と続くが、車の中からこのような廃墟のうなものがチヨイチヨイ目に入ってくるので、「あれは古建の遺跡ですか」「尋ねます」というではなくて、オリブや草の如く開墾する作業時に集まった人々が寝泊りしていた跡だそうで、日本という版図の跡なのです。開墾作業の土

位で売られているスパークリングワインです。是非、飲んでみて下さい。この値段でこの味は超値打ちだと思われる筈です。そのつがこの写真です。

フランスで国際コンクールで金賞も受賞していますよ！

[illegible]

作られた住居なので長い年月経つと風雨のあるように崩れていくのだそうよ。

何か風情があるのを写真で撮った。五十年経つと自然の力で崩れ去っていく風景です。日本をまわく自然の風景と全く異なる姿がそこにはあります。

「自然との関い」なしには生きにくい人達と「自然との共生」の中で生き延びた日本人との違いは、良し悪しの間ではなく、生きる手法の違いである。当然、欧米の人達日本人との考え方のギャップのようなものが今もあるのは仕方のないことだろーと思ひます。

A black and white photograph of a desert landscape. In the foreground, there is a sandy, sloping hillside with sparse, low-lying vegetation. A dark, winding path or stream bed cuts through the middle ground. In the background, a range of rugged mountains rises against a clear sky. The photograph is presented with a white border, suggesting it is a physical print.

[illegible]

「自然」との関い「なし」には生きていけない人達と「自然」との共生の中で生きてきた日本人と「自然」の方の連は良し悪しの間ではなく、生きる手法の違いであるのは当然、欧米の人達日本人との考え方のギャップのようなものが今もあるのは仕方のないことだろうと思います。

